

れいわ に ねんど
令和2年度

ぶんか げいじゆつ こども いくせい そうごう じぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

ちようよう りゆう
■重踊流について

りゆうきゆうぶよう ちようようりゆう しだ ふさこ くに してい じゆうよう むけい ぶん か ざい りゆうきゆうぶよう
「琉球舞踊 重踊流」は、志田房子（国指定重要無形文化財「琉球舞踊」

そうごう にんてい ほ じ しゃ しよだい そうけ でんとう う つ
(総合認定)保持者)を初代宗家とし、伝統を受け継ぐとともに、

あら さくひん そうさく と く
新たな作品の創作にも取り組んでいます。

しー かい
■子の会について

しー かい こくりつ げきじょう くみおどり けんしゅう しゅうりょうしゃ こうせい かい
「子の会」は、国立劇場おきなわ組踊研修修了者で構成された会です。

ねんかん けんしゅうしゅうりょうご たが みづか ぎ げい こうじょう め ぎ もくてき
3年間の研修修了後も、互いに自らの技芸の向上を目指すことを目的に

せつりつ
設立されました。

くみおどり でんしゅうしゃ かつどう とお ぶん か いさん くみおどり
組踊の伝承者としての活動を通して、文化遺産である組踊をはじめとする

おきなわ でんとう けいのう せ かい おお ひと し じ せだい けいしやう
沖縄の伝統芸能の世界を多くの人に知ってもらい、それを次世代へ継承

せりよくてき と く
していくことに精力的に取り組んでいます。

しゆつ えん りゆうきゆうぶよう ちようようりゆう
■出演：琉球舞踊「重踊流」

おきなわ でんとうくみおどり しー かい
沖縄伝統組踊「子の会」

りゆうきゆうぶ ようかんしゅう しだ ふさこ くに してい じゆうようむ けいぶんかざい りゆうきゆうぶよう そうごうにんてい ほ じ しゃ
■琉球舞踊監修：志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」(総合認定)保持者

くみおどり かんしゅう みや ぎ のうほう くに してい じゆうようむ けいぶんかざい くみおどり そうごうにんてい ほ じ しゃ
■組踊監修：宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」(総合認定)保持者

き かく せいさく かぶ しき がいしゃ ボックス よるづや
■企画制作：株式会社BOX4628

りゆうきゆうぶ よう ちようようりゆう よ だけ
琉球舞踊 重踊流 「四つ竹」

おき なわ でん とう くみ おどり しー かい まん ざい てき うち
沖縄伝統組踊 子の会 「万歳敵討」



ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

わ くに いちりゅうぶんか げいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ふたい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台
芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしやうのりよく こうじょう のりよく いくせい
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしやうしどう おこな じつえん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
こども さん か
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



りゅうきゅうが よう
琉球舞踊とは

おきなわ
 沖縄は、1879（明治12）年に沖縄県が設置されるまで、
 りゅうきゅうおうこく
 琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

- ①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって生まれた「古典舞踊」
- ②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた大衆的な「雑踊」
- ③戦後につくられた「創作舞踊」

くみおどり
組踊とは

せりふ おんがく おどり
 台詞、音楽、踊り（所作）によって構成される演劇（歌舞劇）のことです。

くみおどり りゅうきゅう
 組踊は、琉球（今の沖縄県）の新国王認証のため中国から派遣された冊封使を

もてなすために玉城朝薫によって作られ、1719年に初めて上演されました。

ちやうくん りゅうきゅう
 朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇から

ヒントを得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

ことし ねん
 今年2020年は、組踊がはじめて上演されてから 301 年目となります。

しょうがっき しょうかい
【使用楽器の紹介】



こう えん
公演プログラム

ぶ
1部

りゅうきゅう ぶよう じょうえん さくひん よ だけ こてん おんなおど
 ◇ 琉球舞踊 上演作品 『四つ竹』 古典女踊り

りゅうきゅう ぶよう じょうえん さくひん かいせつ
 ◇ 琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

おきなわ おん がく がっき しょうかい
 ◇ 『沖縄ことばクイズ』 『楽器紹介』

おきなわ おん がく
 『沖縄音楽ミニコンサート』

あさどや えん ぶ はっぴよう
 ◇ 『安里屋ユンタ』 エイサー演舞発表コーナー

う うた おど
 打って！唄って！踊ろう！

ぶ
2部

くみおどり じょうえん さくひん
 ◇ 組踊 上演作品のあらすじとおはなし

くみおどり じょうえん さくひん まんざい てきうち あだ うち もの
 ◇ 組踊 上演作品 『万歳敵討』 仇討物

くみおどり むけい ぶんか いさん
 (組踊：ユネスコ無形文化遺産)